

## 震災支援と歯科ニーズ

相 田 潤

### Oral health needs and health care activities after disasters

Jun Aida

東日本大震災は大きな被害をもたらし、現在も避難所や仮設住宅での生活を多くの人々が余儀なくされている。地震発生直後の緊急期を過ぎて1か月以上たった現在では、通常の歯科保健医療のニーズの解消が望まれている。しかしながら、ニーズの把握は一般的に難しいことが多い。そのためここでは、ニーズの定義を振り返り、そこから考えられる対策について述べてみたい。

Bradshaw はニーズを以下の4つに分けている<sup>1,2,3)</sup>。

1. 歯科医師等専門家が必要だと考える歯科医療・ケアの必要性 (Normative needs)
2. 本人 (住民) が自覚している歯科医療・ケアの必要性 (Felt needs)
3. 本人 (住民) が実際に歯科介入を受けに行くという形で表現されたニーズ (Expressed needs) = 提供される歯科医療・ケアの需要
4. 似たような人や集団と比較したときに、足りないから必要だと考えられるニーズ (Comparative needs)

1から3までは、深井が図にまとめ報告している<sup>3)</sup>。これらは、震災時のニーズを考える上でも重要な概念となる。また4は、健康格差、地域格差を論じるときに重要なニーズの概念であり、今回の震災においては、歯科医院の分布の地域差や歯科関係の支援物資の不足や分配の避難所間の差を論じるときに重要になるだろう。

災害時に限らずニーズの把握が難しい原因は、1から3までのニーズが一致しないことが大きな要因である。たとえ歯科医師が治療が必要だと考えるような状態であっても、本人が自覚するとは限らないし、また自覚したとしても忙しさや金銭的な理由などにより歯科医院に通院するとも限らない。このように1から3のニーズにギャップがあることが、ニーズの把握を難しくする。

現在、被災者の医療費の自己負担の免除が適用されているが、これは金銭的なことが、医療受診の妨げにならないことを目的としており、Felt needsがExpress needsに結びつかない状況を減らす効果があるだろう。医療機関が被災した地域への仮設診療所の設置や診療所へのバスの就航も、アクセスの問題を解消することで、Felt needsをExpress needsにつなげるだろう。

しかし、それだけでニーズがすべて解消されるわけではない。特に避難所で生活するような地震の被災者にとっては、口腔の困りごと以前に様々な生活上の問題が存在して、我慢できる問題であれば歯科医院に通院することは後回しになるだろ

#### 【著者連絡先】

〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町4番1号  
東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野  
相田 潤  
TEL : 022-717-7639 FAX : 022-717-7644  
E-mail : j-aida@umin.ac.jp

う。多くの歯科ボランティアが義歯が津波で流されて無い高齢者が避難所で生活することを指摘している。私自身もそうした高齢者のお話を伺う機会が何度かあった。ボランティアで無料の歯科診療車が入った地域であっても、義歯が無いことで診療にかかるとは限らないようである。大変な状況の中で、優先順位が高い事項が多く存在し、自分以上に大変な状況にある人々も存在し、義歯が無いことは解決すべき生活上のニーズとならない可能性がある。「問題がある人は受診してください」というアナウンスだけでは、ニーズの一部しか掘り起こせないのかもしれない。

このような潜在的な歯科ニーズの解消には、2つの方法があるのではないかと思う。1つは、各年齢層への口腔ケア—高齢者の誤嚥性肺炎予防、子どものう蝕予防、成人の歯周病予防—を被災者個々人に話を伺いながら実施していく中で、閉じ込められているニーズを掘り起こし、解消につながるような方法である。避難所での口腔ケアは、ケアによる爽快感が体験されるし、また口腔ケアに関する支援物資があればそれを配布することをきっかけにしてより深い話が出る可能性がある。

一部の病気を持つ方だけでなく、多くのあらゆる年齢の人にコンタクトできるのが、歯科の口腔ケアの強みではないかと思う。もう1つの方法は、避難所での生活環境の改善により、歯科のニーズに着手できるような環境を作り出すことである。こちらは、歯科以外の多くの部門の協力が必要であるが、本質的に大変重要であろう。

最後に、地元および全国の多くの歯科関係者が震災支援に当たられていることに最大限の敬意を表したい。また、ここでは住民側のニーズを取り上げたが、被災した歯科医師側には、地域の歯科医療の復興のためのニーズが存在する。これらのニーズの一刻も早い解消が望まれる。

#### 文 献

- 1) Bradshaw JS: A taxonomy of social need. Oxford University Press 1972 ; London : 69-82.
- 2) Sheiham A, Tsakos G : Memorandum by Professor Aubrey Sheiham and Dr Georgios Tsakos. Parliament.uk 2004 ; <http://www.publications.parliament.uk/pa/ld200506/ldselect/ldsctech/20/20we25.htm>
- 3) 深井穂博 : 歯科保健医療におけるニーズと需要の概念. ヘルスサイエンス・ヘルスケア 2009 ; 9 (1) : 1-3